

## 初任給の使い道を指導 感謝の気持ちを行動で示す 親孝行を推進 “親に優しく出来る人が人に優しく出来る”

リフォーム事業をおこなう株式会社NEXTAGE GROUPの子会社、ネクステージ グループ MED Communications株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐々木洋寧）は、2018年の新入社員29名を対象に『親孝行手当』を支給し、ゴールデンウィーク休暇中に里帰りをして親孝行を実施しました。

この取り組みは昨年度の新入社員から実施しています。当社では初任給の支給が5月下旬であるため、昨年度は「お金がない」との理由で、ゴールデンウィーク休暇に実家へ帰ることが出来ず、親孝行が出来ないとの意見が多くでました。そのため、本年度は「親孝行手当」の支給に加え、給与の仕組みを変更し4月下旬に「初任給授与式」を行い、新入社員29名に代表の佐々木より初任給を直接手渡し、その場で親孝行の大切さを伝えました。

### ■親に優しく出来る人が、人に優しく出来る

当社では親に感謝し、親孝行出来ない社員は、人に優しくすることが出来ないと考えています。当社のサービスは顧客と信頼関係を築きあげ、長く付き合うビジネススタイルです。そのため、親に感謝し、相手の立場にたった考え方が出来るようになってほしいと指導しています。その支援のために「親孝行手当」という制度を設けました。入社一年目のゴールデンウィーク休暇に親に食事やプレゼントをすると実家までの交通費を支給するもので、今回新入社員はゴールデンウィーク休暇に実家へ帰り親孝行をしてきました。実際に親孝行をしてみて、「親に感謝の気持ちを伝えられて良かった」、「定期的に親孝行しようと思った」など感謝の気持ちを伝えることの大切さを学びました。来年度の新入社員に対しても、親に感謝することの大切さを指導し、仕事をする上で顧客との繋がりに感謝する気持ちを行動で示せるように指導していきます。



代表 佐々木から初任給を受け取る新入社員

### ■会社と親との関係性強化の役割

当社は社員とその家族との関係を大事に考えています。親元を離れ、一人暮らしをはじめると、実家に帰らなくなる傾向にあります。しかし「親孝行手当」があることで、気軽に実家に帰ることができ、親が率先して「親孝行手当を活用して帰ってきてね」と子に伝えています。

親に会社の取り組みや制度を理解してもらうことで、安心して子を任せてもらえ、新入社員が仕事の悩みや不安があるときも、親との連携がとれることで改善出来ると考えています。

そのため、来年度の採用活動では新卒者の親に向けた企業説明会を10月に実施します。そして、今後も会社の制度や考えを親に理解してもらう機会を設けていきます。

## 【『親孝行手当』の概要】

名 称：『親孝行手当』

対象者： 高校、大学を2018年3月に卒業した新入社員

- 内 容：
- ・親への感謝の気持ちの意識向上を目的に、制度が誕生
  - ・入社1年目のゴールデンウィークに、育ててくれた親に感謝の気持ちを込めて食事やプレゼントをすると、実家までの交通費を支給
  - ・昇進時には、親に報告をしに行くための、実家までの交通費と親との食事代を支給
  - ・制度を利用する社員は、親孝行の様子を写真や動画で、会社に報告



## 【制度を利用し親孝行を実施した社員の感想】

氏名	親孝行の内容	親孝行して感想	親から言われたこと
吉田有輝	母がブリザードフラワーに興味を持っていたので、プレゼントしました。	照れくささや恥ずかしさがありました。少しは日頃の感謝の気持ちを伝えられたかなと思います。	笑顔で、「ありがとう」と喜んでくれました。
鈴木凌	父と母にイニシャル付きのコーヒーカップをプレゼントしました。	今までの感謝を改めて伝えられました。そして、とても喜んでくれました。これからも感謝を伝えていこうと思いました。	「大事に使うね、ありがとう」と言ってくれました。
中道美里	父、母、祖母、姉にプレゼントを用意して、給料袋ごと手渡しました。	日頃の感謝の気持ちが溢れてきました。今回が親孝行第一弾として定期的にやっていこうと思いました。	「帰ってくるだけで十分だよ、どうもありがとう」と言ってくれました。
石ヶ森智哉	菓子と、酒代を渡しました。父は酒が好きなので、私が帰った後に兄から酒代をそっと父に渡してもらおうようお願いして、サプライズを演出しました。	初めて親にプレゼントをしたので、感謝の気持ちが溢れ、感極まって泣いてしまいました。これからも、その気持ちを大事に定期的に親孝行しようと思いました。	「親にではなく、自分のために使いなさい。でも、サプライズをありがとう」と喜んでくれました。



給料袋ごと初任給を家族に渡す